

会長：平子玲子 札幌市西区琴似4条6丁目5-8-601 (TEL643-3491) 発行人：安高誠吾 Email : syasutaka@bear.odn.ne.jp

幹事会報告 9月10日(水) Zoom 会議

出席：大橋、平子、高田、中島、安高

- 夏の交流会 in びっぶ、9月6、7日：参加者なし
 - 平和大好きラン&ウォーク、9月27日：参加希望者なし
 - 伊藤さんの送別会 8月23日：参加者9名
 - 秋の行事：検討中 クラブ活動.com で通知
- 次回幹事会：10月15日(水) 18:00より Zoom 会議

道スキー協主催 スキーシンポジウム

11月2日(日) 10:00~15:00 会場：札幌市市民交流プラザ4階控室 402 オンライン参加も可
会場参加：定員42名(事前申し込み先着順) オンライン参加：定員なし(申し込み締め切り10月26日)
受講料：一般500円 指導員1,000円
注意：指導員は一日参加で理論研修終了となります。12月の札幌地区での理論研修は行われません
※ 詳しくは配付されたスキーシンポジウム案内をご覧ください。

伊藤さんの送別会の報告

安高誠吾

東京へ異動となった伊藤さんの送別会が琴似のイタリアレストラン「ミアボッカ」で開かれました。伊藤さんがステップに入会されたのが2021年の冬。12月24日発行の会報第454号に伊藤さんの紹介記事を掲載いたしました。それから3シーズン、一緒にスキーを楽しんで来ました。とりわけ昨シーズンの検定合格は大変嬉しい出来事でした。伊藤さんはまだ50代、どこのスキー協にとっても貴重なメンバーとなるでしょう。東京での更なる活躍を祈ります。

(出席者：伊藤、大橋、菊地、鈴木、高田、中島、平子、増子、安高)



送別会での伊藤さんの挨拶(スマホの録音より)

私の送別会に皆様集まって下さってありがとうございます。皆様と共に3シーズン過ごしたわけであります。昨年は指導員検定にチャレンジしましたが、合格点数に届かなかった種目があって残念でした。それで今年は合格することができて、これから指導員として皆様と一緒にスキーができることを楽しみにしておりましたけれども、こういうことになりまして残念で申し訳ありません。これからは別の所でクラブに入ってスキーを続けたいと思っています。これまでお世話になりました。

8月は、足を伸ばして道東の方の山に登ろうと計画を立てた矢先に羅臼岳の熊の事故。登山自体を諦めようかとも思いましたが、せっかく3連休もとったので前から登ってみたいと思っていた雌阿寒岳に決めました。8月24日にオンネトーのキャンプ場で前泊。25日の天気は、あいにくの曇り空。湿度が高いせいかオンネトーから雌阿寒岳登山口までの歩きで汗だくです。曇り空なので頂上からの眺めは期待できないのかもと諦めていましたが、なんと頂上だけは雲がなく雲海が広がっていました。そして、頂上からは阿寒湖の方の雲が切れて阿寒湖が見えるではありませんか。頂上からの阿寒富士は、登れる気がしないとなかば諦めていましたが、なんとか登ることができました。そこで、力尽き下山はまったく写真を撮る余裕はありません。しかも、途中でこれそうになり右足を大きな岩にぶつけ腫れ上がり青タンになりながらも無事に下山。想像以上に迫力があり、活火山を実感できる山でした。9月に入り、噴火警戒レベル2で入山規制というニュースを見てびっくり！その前に登れて良かったとホッとしました。



8月の宮崎。熱く闘ったのは、猛暑に青息吐息の私ではもちろんなく、札幌大谷中学サッカー部員3年生の私の孫です。7月末、大谷中は中体連サッカーの全道大会で6年連続優勝。8月17日～22日に宮崎県で開催された中体連全国サッカー大会に北海道代表として出場することになりました。初戦は福岡県の連合チームに2-1で勝利。2戦目は石川県の強豪チーム広陵中を1-0で破りベスト8に進出。19日のベスト4を賭けた準々決勝戦の相手は過去何度も全国優勝した実績のある地元宮崎県の日章学園中。前半は1-1、後半は1-2でリードされていましたが、パスを受け

ドリブルで相手をかわした孫の左足が一閃、30mの弾丸シュートがゴール左上隅に突き刺さり同点。後でその映像を観ましたが観客がどよめく見事なシュートでした。しかし終了間近で1点を決められ2-3で惜敗、ベスト4入りはなりませんでしたが素晴らしい試合でした。その後、相手の日章学園中は決勝戦まで進み、静岡学園中に敗れて準優勝でした。

64チームが参加した大会が終了した後、大会優秀選手20名が表彰され、なんとその中のひとりに孫が選ばれました。あのスーパーゴールがアピールしたのでしょうか。孫がサッカーを始めた小学生の頃に、我が家の車庫のシャッターをゴールに見立てて私がキーパーになってシュート遊びをよくやっていましたが、それが今回のあのシュートに繋がったのでしょうか？ジイジとしてはそう思いたい。それはともかく、大谷中と孫の活躍に快哉を叫んだ夏でした。(写真は全道大会で優勝した時のもの)

編集後記：前号を発行したのが8月の初旬、今号は9月末となりました。北海道では記録的な暑さに喘いでいるうちに9月を迎え、いつしか朝夕が涼しくなり、最近は長袖の服を着るようになりました。季節の移り変わりはなんと早いことか。この間の九州南部や新潟や秋田などの日本海沿岸地方での集中豪雨、台湾でも台風による暴風と大規模な洪水、その他諸々。明らかに気候変動による災害です。科学的事実を無視し、気候変動に対する警告を「グリーン詐欺」と呼ぶ男がいるとは。(安倍)